

パブリックコメント提出意見の概要及びそれに対する市(教育委員会)の考え方

西尾市生涯学習推進計画(案)に関するご意見をページ順にしました。

番号	計画書 記述か所	意見の概要	意見に対する市(教育委員会)の考え方
1	1ページ 第1章	西尾市の概要に自然と歴史・文化と述べられている。これら3項目を学ぶのは西尾市に愛着・誇りを持つのによいことだと思うが、ここでは今までの事を列挙するだけになっており、学習に通じるようなまとめ方をしてほしい。	西尾市の概要では、学習につながるように西尾市の自然と歴史、文化を記述しています。なお、学習に通じる施策については第2章以降に記述しています。
2	3ページ 第2章	生涯学習の意義の生涯教育とはについて、文面からは人生が充実する時期の生涯教育となっているように思う。しかし、教育は物心つく幼児期から生涯にわたる教育がはじまる。生きる力となる生涯にわたる教育であってほしい。 教育についても、豊かな人生に通じる教育、環境教育、社会教育、家庭における教育地域の自然・歴史・文化を学ぶ教育などを学び、地域に貢献できる人に育ってほしいと願う。	生涯にわたるすべての時期にあてはまる文章表現に変更します。
3	4ページ 第2章	生涯学習活動の場として、現在の施設のみに固執せず、他の公共施設や、民間の遊休施設活用により、維持管理費の軽減を図った方が良いと思います。民間にとっても、賃貸収入や施設を市民が認識するというメリットがあると思います。	14ページの①公共施設再配置による学習の場の提供に、公民館、ふれあいセンター以外の公共施設の有効利用についても記述していきます。
4	5ページ 第2章	社会教育団体への補助金の交付に際しては、団体が開催した行事・講習会等に参加した人から感想文を求めることを条件とし、可能な限りHP上に公開した方が良いと思います。行事・講習会等の内容や参加者の感想が公開されることにより、市民の関心が高まり、次回参加者の増加が見込まれると思います。	ホームページの内容を充実させていきます。

パブリックコメント提出意見の概要及びそれに対する市(教育委員会)の考え方

西尾市生涯学習推進計画(案)に関するご意見をページ順にしました。

番号	計画書 記述か所	意見の概要	意見に対する市(教育委員会)の考え方
5	5ページ 第2章 10ページ 第3章	<p>5ページの西尾市における生涯学習活動の取り組みの「2 生涯学習の振興」に家庭教育事業として、④おやじの会応援ルーム、⑤寺子屋におお推進事業、⑥親子講座とありますが、10ページの体系図では、家庭教育の充実が「体系6 青少年の健全育成」に位置づけられています。</p> <p>本来、家庭教育事業は、青少年のための事業ではなく、子を持つ親が子育てやしつけについて学ぶ事業ではないでしょうか。インターネットで家庭教育について調べると次のように記述されています。</p> <p>家庭教育(かていきょういく)とは、親がその子に家庭内で、言葉や生活習慣、コミュニケーションなど生きていく上で必要なライフスキル(生きていくうえでの技術)を身につける援助をしてやること。類似・関連語には躰(しつけ)がある。</p> <p>(文部科学省のホームページから)</p> <p>家庭教育ってなんだろう・・・</p> <p>家庭教育は、すべての教育の出発点。家族のふれ合いを通して、子どもが、基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的倫理観、自尊心や自立心、社会的なマナーなどを身につけていく上で重要な役割を果たしています。例えば、毎日の生活の一場面。皆さんのご家庭では、どのように過ごしていますか？いつも家族で「おはよう」「ただいま」「おやすみ」などのあいさつを習慣にしている。早寝早起きを心がけている。朝ごはんは家族一緒に食べる。学校での出来事などについて、子どもとよく話をする。テレビやゲームの時間などのルールを、親子で話し合って決めている・・・。家庭は、子どもたちが最も身近に接する社会。常に子どもの心のよりどころとなるものです。少し立ち止まって、日常の家庭での生活を振り返ってみませんか。</p>	<p>総合計画では、家庭教育事業を青少年健全育成事業の中に位置づけています。</p> <p>なお、5ページの2.生涯学習の振興にある家庭教育事業を、3.青少年健全育成の振興に変更します。</p>
6	10ページ 第3章	<p>推進計画体系図で「リカレント教育」と専門用語を使用しています。後述されてはいますが、用語については、脚注を付けたほうが良いと思います。</p>	<p>専門用語につきましては、脚注を加えます。</p>
7	11ページ 12ページ 第4章 体系1	<p>ライフステージについて</p> <p>乳児期・・・家庭・地域サポートでの教育(家族・地域)</p> <p>幼年期・少年期・・・生きる力教育、感性・情緒豊かに育つ教育プログラム(自然・環境教育など・体で覚える教育)</p> <p>高校生、大学生期・・・ボランティア活動、地域の歴史・文化を学び連携する。</p> <p>社会人・会社人間期・・・地域の歴史・文化の担い手になるようにつながり絆教育。</p> <p>中年後期・・・自己の生涯にわたる教育のまとめ期</p> <p>高齢期・・・地域・社会に教育を還元する時期</p> <p>ライフステージごとの教育が充実するのではと思う。</p>	<p>今後、具体的な施策として推進していく際の参考とさせていただきます。</p>

パブリックコメント提出意見の概要及びそれに対する市(教育委員会)の考え方

西尾市生涯学習推進計画(案)に関するご意見をページ順にしました。

番号	計画書 記述か所	意見の概要	意見に対する市(教育委員会)の考え方
8	13ページ 第4章 体系2	13ページ4行目に、「施設の円滑な運営を図るための調整を担う生涯学習課事務室を働く婦人の家に構え」とありますが、本来、生涯学習課事務室を施設内に配置することは、適当ではないのではないのでしょうか。「施設の円滑な運営を図るため、中央施設に職員や社会教育指導員等を配置し、市民大学講座などの企画や運営を……」、としてはどうでしょうか。	ご指摘の事項につきましては、現状を記述したものです。
9	13ページ 14ページ 第4章 体系2	<p>人づくりと地域づくりで、ともに育ちあう生涯にわたる教育となつてゆく。          知り合い、子供会・青年団・中年者・高齢者などの世代交流を実施し、生涯にわたる教育・活動の縁が切れないように配慮する。          生きがい(仲間がいる事、人は人を必要としている)          役割(誰かの役に立っているという事)          目標(生涯にわたる目標をつくる)          地域との連携・・・生涯教育は、人づくり・地域づくり          市民講座、地域の特徴を講座にする。          地域の課題から重層的な講座に広げ、地域住民の参加、協同、協働を通して地域づくりの担い手に、地域の主役に。          現代的課題(子育て、高齢化、環境、防災、地域・生活課題)の解決は足元から。          地域施設(公民館・ふれあいセンター)          人があつまる「たまり場、居場所に、集い、話し合い、交流し、学びあい」、          地域づくり人づくりの拠点となるように。          広げたい、深めたい市民の協働学習、市民と行政との協働学習。          参加・共同・協働をととして地域づくりの担い手に、そして地域の主役に。</p>	公民館、ふれあいセンターを地域の交流の場として活用するよう記述を追加します。

パブリックコメント提出意見の概要及びそれに対する市(教育委員会)の考え方

西尾市生涯学習推進計画(案)に関するご意見をページ順にしました。

番号	計画書 記述か所	意見の概要	意見に対する市(教育委員会)の考え方
10	15ページ 16ページ 第4章 体系3	<p>①講座情報の提供は、市のホームページからリンクを貼って、一覧で分かるようなホームページを作成された方が良いと思います。ネット社会になり、「広報にしお」や募集チラシは、情報伝達の媒体としては、発信力が弱くなっているように思います。</p> <p>②各主催団体が協力をして、ホームページ上へ行事や講習を積極的にアップできる体制が出来れば、若い市民を含め、より多くの市民が情報を得られると思います。</p> <p>③相談窓口の充実についても、ホームページ上から「問い合わせ」が出来れば、現状の課題を解決する一助になると思います。</p>	<p>ホームページの内容を充実させていきます。</p>
11	17ページ 18ページ 第4章 体系4	<p>①学習発表の場として、会場での発表が一番良い方法だとは思いますが、ホームページ上であれば、いつでも閲覧することができ、スペースは不要です。</p> <p>②生涯学習サポーターを募集すると記載されていますが、同サポーターは、具体的に、何をするのかを記載した方が分かり易いと思います。</p> <p>③講座の講師等が、生涯学習出前講座に参画するとは、何に参画するかを具体的に書かれた方が分かり易いと思います。</p>	<p>①16ページの①講座情報提供の充実記述してありますように、ホームページでフェスティバル等の生涯学習活動の様子を紹介していきます。</p> <p>②生涯学習サポーターの具体的な活動が分かるように記述を変更します。</p> <p>③何に参画するかが分かるように記述を変更します。</p>
12	19ページ 20ページ 第4章 体系5	<p>①生涯学習インストラクターや同コーディネーターの資格認証制度について、一般市民は分かりません。説明文を脚注に追記した方が良いと思います。</p> <p>②講師登録制度の充実と活用の推進も、働き盛りの現役世代を取り込もうとするのであれば、ホームページの活用は必要だと思います。</p> <p>③生涯学習推進委員会が、どのような委員で構成されているか、一般市民は分かりませんので、脚注で、説明した方が良いと思います。</p>	<p>①10ページの体系図に脚注を加えます。</p> <p>②講師登録制度についても、募集についてはホームページを活用できるように記述していきます。</p> <p>③生涯学習推進員の名簿、設置要綱については、27ページ、28ページの資料編に記述してあります。</p>
13	21ページ 22ページ 第4章 体系6	<p>①家庭教育の充実で、学社連携の推進とありますが、何を連携するのか一般市民には分かりません。具体的な説明文を追記した方が良いと思います。</p> <p>②地域ぐるみによる家庭教育の活性化とありますが、寺子屋にしお等の団体は、市内全体の子どもの何パーセントの参加を目標にしているのですか。</p>	<p>①具体的な記述に変更します。</p> <p>②総合計画の目標数値で、寺子屋にしおは2022年に市内小学校の半数にあたる13校での開設を目指しています。おやじの会は2022年に23団体を目標としています。</p>

パブリックコメント提出意見の概要及びそれに対する市(教育委員会)の考え方

西尾市生涯学習推進計画(案)に関するご意見をページ順にしました。

番号	計画書 記述か所	意見の概要	意見に対する市(教育委員会)の考え方
14	22ページ 第4章 体系6	<p>③地域ぐるみによる家庭教育の活性化に、「寺子屋にしお事業」があります。寺子屋にしお事業は、文部科学省の委託事業「放課後子ども教室」として創設したもので、当事業が家庭教育の活性化に属するのかが疑問です。むしろ、児童健全育成事業といえるのではないのでしょうか。</p> <p>(文部科学省のホームページから)</p> <p>1)「放課後子どもプラン(放課後児童クラブ・放課後子ども教室)」の推進</p> <p>2007(平成19)年度に、文部科学省と厚生労働省が連携・協力して、地域社会の中で、放課後や夏休みなどの長期休暇時に子どもたちの安全で健全な居場所づくりを推進し、総合的な放課後児童対策として実施する「放課後子どもプラン」を創設した。</p> <p>本プランの実施に至った背景には、少子化や核家族化が進行し、子どもや子育てを取り巻く環境が大きく変化して、家庭や地域社会における子育て力や教育力の低下が問題となっている中で、特に、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後等に異年齢の子ども同士で遊んだり、交流したりする機会が少なくなってきたこと、</li> <li>・子どもを巻き込む犯罪や事件の増加により、子どもが安心して過ごせる場所の確保が困難になってきたこと、</li> <li>・就労や社会参加を希望する女性が増加する中、子育てと仕事の両立を支援する環境づくりをより一層進める必要があること、</li> </ul> <p>などにより、就学期の子どもや子育て家庭にとって、放課後等に子どもたちが安全な場所で安心して過ごすことができ、地域のボランティア等の協力・参画を得て、様々な体験や交流を深められる取組が強く求められていたことがある。</p> <p>また、「放課後子どもプラン」は、各市町村において、小学校の余裕教室や地域の児童館・公民館などを活用して、すべての子ども(主に小学生)を対象に、地域の方々の参画を得て、学習活動やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供する「放課後子ども教室推進事業」(文部科学省所管)と、主に小学校3年生までの共働き家庭など留守家庭の子どもを対象に、適切な遊びや家庭に代わって安心感のある安定した生活の場を提供する「放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)」(厚生労働省所管)の両事業を一体的あるいは連携して、原則としてすべての小学校区での実施を目指すものである。</p> <p>2010(平成22)年度では、放課後子ども教室が9,280か所(実施予定含む)、放課後児童クラブが1万9,946か所での実施となっている。</p>	<p>西尾市としては、寺子屋にしお事業を青少年健全育成事業の中の家庭教育事業の一つとして位置づけしています。</p>

パブリックコメント提出意見の概要及びそれに対する市(教育委員会)の考え方

西尾市生涯学習推進計画(案)に関するご意見をページ順にしました。

番号	計画書記述か所	意見の概要	意見に対する市(教育委員会)の考え方
15	25ページ 第5章	第7次総合計画では、目指す姿と目標指標が示されています。推進計画では、上位計画で示された目標値について、どのように推進していくのですか。計画実現に向かっては、進行管理方針を示された方が良いと思います。	生涯学習推進委員会や社会教育審議会などで目標値など計画の進行管理をしていきます。
16	25ページ 第5章	毎年度実施計画を策定し、進捗管理をされるということですが、市のホームページ上に進捗状況を公表された方が良いと思います。公表することにより、市民の関心が高まり、次年度以降、市民の参加者が増えると思います。	総合計画の運用に準じていきます。